

情報提供日 1月30日(水)

白川町役場 0574-72-1311

▶問合先 企画係長 鈴木幸祐(内線231)

みんなで使い、みんなで守る公共交通を目指して  
おでかけしらかわ・ひがししらかわ 利用促進シンポジウム



昨年の10月から運行を開始した新しい公共交通システム「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」。同システムの現状と今後を考える事で、住民自らが公共交通を身近に感じるとともに、地域の暮らしの足を考える機会となるシンポジウムを開催します。

記

1. 日 時 2月10日(日)13:30~16:30
2. 場 所 白川町町民会館 グロリアホール(白川町河岐1645番地1)
3. 内容(予定) 参加人数は約300人を予定しています。

時間	内容
12:30~	おでかけしらかわ・ひがししらかわ 乗り方教室・相談会 (濃飛バス株式会社、白川コミュニティバスセンター協力)
13:30	開会・挨拶
13:40	【報告】 おでかけしらかわ・ひがししらかわの現状について
14:00	【基調講演1】「暮らしの足」から地域づくりを考える～東北の現場から～ 講師:若菜 千穂 氏 (NPO 法人 いわて地域づくり支援センター 常任理事)
14:40	【基調講演2】 地域みんなが一生懸命取り組むことで、おでかけしやすく 住み続けられる地域にできる! 講師:加藤 博和 氏(名古屋大学環境学研究科 教授) 白川・東白川地域公共交通活性化協議会 副会長

15:15	<p>パネルディスカッション「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」を活かす方法</p> <p>◆コーディネーター 加藤博和 氏</p> <p>◆パネラー</p> <p>①若菜 千穂 氏</p> <p>②岩村 龍一 氏(株式会社コミュニティタクシー 取締役会長)</p> <p>③飯島 勲 氏 (株式会社サポートエクスプレス 代表取締役)</p> <p>④藤井秀男 氏(黒川地区 公共交通地域部会長)</p> <p>⑤田口一成 氏(佐見地区 公共交通地域部会長)</p> <p>⑥大崎正秀(白川・東白川地域公共交通活性化協議会 東白川村高校生保護者代表)</p>
16:30	閉会

4. 主 催 白川・東白川地域公共交通活性化協議会

後 援 名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

#### 【これまでのあゆみ】

平成28年 1月 路線バスの運行見直しを受け、白川町地域公共交通会議を設置

平成28年 6月 白川・東白川地域公共交通活性化協議会を設置。

平成28年 9月 白川北地区で地域部会が設立※以後各地区で設立、5つの部会ができる

平成28年12月 白川北地区で予約制バスの実証運行開始

平成29年 7月 夏休み小学生50円バスを運行

平成30年10月 おでかけしらかわ・ひがししらかわ新公共交通システムスタート

#### 【おでかけしらかわ・ひがししらかわの新システムについて】

##### ①濃飛バスが4路線から2路線に

9月30日に佐見・黒川・蘇原の濃飛バス各路線が廃止し、新たな路線として白川中央線、白川東白川線が運行します。白川中央線は、約1年半の実証運行期間中に利用が多かったところがバス停になり、JR下油井駅から道の駅ピアチェーレ、白川病院、白川口駅、楽集館、堀通り(フリー乗降区間)、マツオカ白川店を走る路線です。

##### ②予約制バスが各地区を運行

これまで各地区を走っていた濃飛バスの減便をカバーするように、予約制バスが運行します。この予約制バスは、白川町の公共交通運行システムを管理する「白川町コミュニティバスセンター」で一括管理されます。予約制バスのルート等は、これまで地域部会と住民で決めたものであり、各地区で行先や運行時間が異なります。

##### ③朝晩の通学・通勤にご利用いただけるJR接続便が運行

高校生の登下校時間に合わせて、各地区からJR白川口駅、下油井駅へスクールバスやワゴン車で送迎します。この便は高校生だけでなく、一般の方も利用可能です。